

# 高分子学会ビジョン 2010

## 持続成長可能な社会実現に向け貢献する高分子学会

シュタウディンガーがドイツ化学会誌 (Berichte der Deutschen Chemischen Gesellschaft) に高分子並びに重合の概念を発表してから、今年は 90 年目になります。また、翌 2011 年は、世界化学年であり、高分子学会は創設 60 周年を迎えます。

その間、高分子は科学と工業が両輪となって大きな進展を遂げ、今日では、基礎科学としての充実はもとより、社会に役立つ基幹材料として重要な地位を占めるようになってきました。高分子科学は、独自の基礎科学分野として確立し認識されるとともに、物理化学、有機化学、分析化学などの化学諸分野とともに、より広く物理学、生物学、医学、材料科学・工学とも連携し、分野を超えた融合が進みつつあります。また、地球社会において最も緊急で重要となってきた環境、資源、エネルギー、健康・医療などのいずれにおいても、先端的機能を有する高分子材料が課題解決とイノベーションの先導を果たすことは論を待ちません。このような先端材料の世界では、基礎と応用の分野融合がとくに加速しており、大学・研究機関・企業の壁を越えたオープン・イノベーションを如何に効率良く推進して行くかが成否の鍵を握っています。

一方においては、分野にとらわれずに柔軟な発想が出来る人材の育成や、たゆまぬイノベーションの原点ともなる画期的な発明・発見を生み出す科学技術プラットフォームの構築も重要です。特に、資源に乏しい我が国が、今後も持続的な発展を遂げるためには、先端科学技術の一層の強化と推進が必須であり、中でもこれまでの我が国の学術と産業を牽引してきた高分子科学技術の基盤強化が、まさに喫緊の課題であるといえます。

高分子という概念の提唱から 90 年、学会創設 60 周年という節目にあたり、高分子学会は「持続成長可能な社会実現に向け貢献する高分子学会」という新たなビジョンを掲げ、その活動を積極的に推進します。とくに、このビジョンのもと、以下の 5 重点課題を設定して、11,000 名の産官学の会員が一体となった学会運営と、地球・人類への貢献と公益性を重視した社会との連携活動を展開して参ります。会員各位ならびに関係各位のご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。

### 「持続成長可能な社会実現に向け貢献する高分子学会」

1. 異分野・異文化融合プラットフォームの充実
2. 基礎科学から産業応用までの総合的な強い連携推進
3. 高分子科学技術の持続的発展の牽引
4. 社会との接点の拡大
5. 多様なバックグラウンドを持つ会員の支援

## 1. 異分野・異文化融合プラットフォームの充実

高分子科学・技術を専門とする会員の方には、高分子の持つ新しい可能性を知って貰うために、一方、他分野の方には、高分子の持つ魅力と未来への発展性を理解して貰うために、本学会が主催する四大大行事（年次大会、討論会、材料フォーラム、夏季大学）や研究会を異分野・異文化が融合するプラットフォームとして一層充実します。とくに、会員であって良かったと感じていただけるオープン・イノベーションの場の構築と情報とアイデアのるつぼとなる活気のある学会運営を目指します。

- 時代の変化に柔軟に対応した運営： 四大大行事・研究会のテーマや設定の随時見直し、相互乗り入れシンポジウムなど関連諸学協会との連携強化による合成・物性・加工から出口応用までのシームレスなプラットフォーム構築
- 国際化に対応したプラットフォームの充実： 英語セッションの常時設置、主要行事の国際会議化
- 学術と産業の進展を積極的に盛り上げる企画： イノベーションに直結するフォーカス・セッション、高分子同友会と共同で企画する特別セッションなどの拡充

## 2. 基礎科学から産業応用までの総合的な強い連携推進

高分子学会の特徴は企業会員の方が多いことです（会員数の約 50%）。産学の同好の士が集うという学会の原点に立ち返り、学界と産業界双方の正会員にとって有益な企画をさらに推進します。

- 産学交流の場の強化推進： ポリマー材料フォーラムの一層の充実、高分子同友会との連携強化、夏季大学・研究会を産学交流プラットフォームとして一層活用
- 会員への情報提供の一層の強化： 会誌『高分子』と学会ホームページコンテンツの充実
- ウェブ・セミナー (Webinar) の開設： 主に維持会員・賛助会員を対象としたインターネットによるセミナーを新たに開催。地域によらず、「いつでも」「どこでも」高分子に関連する基礎講座・最新の情報や企画に接することが出来る体制の整備

## 3. 高分子科学技術の持続的発展の牽引

世界が矚目する高分子科学の支援と国際交流を充実するとともに、日本学術会議などとの連携を通じて、国内外の科学技術政策へ高分子の重要性を反映させる活動を展開し、世界の高分子科学技術の未来を先導します。

- 最新・最先端情報の世界への発信： 新装なった *Polymer Journal* の一層の強化充実を図り、海外からの投稿倍増を図るとともに、伝統ある高分子論文集の発行を通じて高分子科学技術の基盤を強化

- 発展著しいアジア地域での交流の強化： 若手研究者交流事業の充実、創立メンバーであるアジア高分子学会連合の活動強化など、国際会議開催や研究交流を積極的に支援
- 学術のみならず産業振興への主体的な取り組み： 企業会員の声を一層反映する学会運営の推進、研究奨励賞の拡充による企業若手正会員の顕彰、国内外の高分子産業振興政策への積極的関与

#### 4. 社会との接点の拡大

冒頭にも述べたように、今、社会が注目している環境・資源・エネルギー・健康・医療、そのいずれの分野においても高分子は重点科学技術としての地位を占めています。また、高分子の科学技術は、化学のみならず物理学、生物学、医学、加工など学際的で多岐にわたっています。一方、高分子は素材や部材として使われるために、その重要な意義が一般社会には見えにくい傾向があります。この点を踏まえて、公益活動の一環として、**高分子の重要性を社会にさらに理解して頂くための活動**を充実します。

- 社会への情報発信の拡充： 学会ホームページを活用した高分子科学技術のわかりやすい最新情報の提供
- 高分子の魅力を社会に根付かせる活動の充実： 中高生への高分子教室や Webinar 配信、社会人を対象とした各地域での公開市民講座やサイエンスカフェへの貢献

#### 5. 多様なバックグラウンドを持つ会員の支援

産学官、科学と技術、地域性など多彩なバックグラウンドを持つ**会員のネットワーク**として学会を位置づけ、これまで高分子学会で培ってきた活発な会員への支援を強化するとともに、支部活動や研究会活動をさらに推進します。これらは**本学会の今後の持続的な発展**に向けての重要な取り組みと考えます。

- 確固たる高分子教育基盤に裏打ちされた人材育成： 学生から企業人まで、多彩なバックグラウンドに対応した教育講座の充実
- 会員の多様性に柔軟に対応出来る制度の整備： 再チャレンジ会員制度の普及など、社会における男女共同参画を後押しする企画の充実、明日を担う学生会員・若手会員の活動支援
- 支部活動や研究会活動の支援： TV 会議システムの導入などを通じて、本部—支部間の連携推進や広域的研究会活動の利便性を向上
- フェロー制度の充実と生涯会員支援： 高分子学会の発展に長年貢献して頂いた会員の顕彰（フェロー制度）、生涯会員として学会へ積極的に関与いただく活動の充実